



活動報告

●【特集】フィンランド経済視察報告

2024年10月に実施したフィンランド経済視察の報告を本号P4以降に掲載しています。ご覧ください。

今後の行事予定

◆北陸産学技術交流会(見学会)

NITEが取り組む

イノベーション支援等の紹介と施設見学

(独)製品評価技術基盤機構(NITE)の取組み※を紹介し、製品の事故調査設備等の施設を見学します。
※技術・サービスが社会や市場で適切に評価される仕組み(評価制度)の構築や運営を担う人材育成、保有するデータ、試験設備を用いた製品開発の課題解決や社会実装

【日時】1月20日(月)14:00-16:15

【場所】NITE北陸支所(金沢駅西合同庁舎7階)

【主催】NITE北陸支所・北経連

【申込】〆切済み

【詳細】<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/cf5d60fbdcc9895b77f0fe109e987ec0.pdf>

(担当：松木、坂井)

◆【参加者募集】

北陸×新潟 地域連携スタートアップピッチ

新潟県、エスイノベーション(株)と連携して、北陸および新潟の大学発スタートアップ・若手起業家の斬新な事業を紹介するイベントを開催します。

【日時】1月22日(水)13:30-16:30

【場所】金沢商工会議所1Fホール(オンライン併催)

【登壇企業】

- ・(株)Dioptra 土木業界のDX推進
- ・(株)NK SkyTech solution ドローン飛行日誌作成
- ・(株)Riparia 企業プロモーション支援(SNS運用等)
- ・(株)N.nor (エヌノア)

アートを用いた企業ブランディング、デザイン他、学生起業家等が6名程度登壇予定

【主催】北経連、新潟県、エスイノベーション(株)

【詳細・申込】1月19日(日)まで

<https://peatix.com/event/4212350>

※Peatixへ要登録。登録後「チケットを申し込む」より申込み。参加無料。(担当：成瀬、松木)

◆新春経済懇談会

【日時】1月27日(月)15:00-17:20

【場所】ANAクラウンプラザホテル金沢

【内容】日本銀行 大川金沢支店長による講演等

【対象】全会員 オンライン併催 (担当：鳥山)

◆北陸産学技術交流会(情報交換)

福井工業大学「生成AIで拓く北陸の未来 ～観光・ビジネスと安心安全～」

観光、ビジネス、医療、偽情報対策の課題解決に向け、福井工業大学の生成AIを活用した取組みを紹介。各分野での生成AIの役割と新たな価値創出の可能性について、情報交換します。

【日時】1月29日(水)12:00-14:15(昼食付)

【場所】福井工業大学 福井キャンパス6号館1階

【主催】福井工業大学・北経連

【申込】〆切済み

【詳細】<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/107794db77eae2eff8a485c482a4049.pdf>

(担当：松木、坂井)



◆ 会員懇談会 (福井)

【日時】2月4日(火) 14:30-18:00

【場所】ホテルフジタ福井(ザ・グランユアーズフクイ)

【テーマ】ダイバーシティ&インクルージョン

【対象】全会員 オンライン併催 (担当：浅井)

お知らせ

■ 福井銀行からのお知らせ

地域脱炭素の実現に向けた 事業者・金融機関向けセミナー in 北陸

地域脱炭素と地域課題の同時解決の実現に向けて、事業者や事業者への支援を担う金融機関を対象にしたセミナーを開催します。

【日時】1月29日(水) 13:30-16:30

【場所】福井銀行本店ビル2階 (オンライン併催)

【内容】「北陸における地域脱炭素の実現に向けて」行政の施策、企業等の取組み紹介、パネルディスカッション他

【詳細】https://www.fukuibank.co.jp/info/2024/datsutanso_20241223.pdf

【申込】<https://forms.gle/nquGgKMA5Qq7VUip6>
(担当：宮下)

■ (独)製品評価技術基盤機構(NITE)からのお知らせ 蓄電池システムの安全性評価に関する NITE 講座

【日時】1月30日(木) 13:15-16:35

【形態】オンライン配信 (Webex ウェビナー)

【内容】リチウムイオン電池の基礎知識、NITE が所有する屋内型大型蓄電池システム評価施設(NLAB)での安全性/技術開発試験の概要等、蓄電池システムの安全性評価に関する基礎情報、具体的な取組、試験事例を紹介。

【対象】ご関心のある方どなたでも

【詳細・申込】https://www.nite.go.jp/gcet/nlab/nite-kouza_2024_nlab.html

【問合せ】(独)製品評価技術基盤機構

国際評価技術本部 NITE 講座事務局

Mail : gcet_nitekouza@nite.go.jp

(担当：坂井、松木)

■ 中国経済連合会からのお知らせ

「外国人留学生の採用・育成セミナー」

【日時】1月22日(水) 13:30-16:00

【場所】リーガロイヤル広島 (オンライン併催)

【内容】講演「地域企業における外国人留学生の活躍と将来性について」ジェトロ高度外国人材スペシャリスト 綾戸高志氏
トークセッション 他

https://www.chugoku.meti.go.jp/r6fy/event/jinzai/241226_1.html

【主催】高度外国人材活躍中国地域コンソーシアム

【申込】<https://regionalconsortium-jetro-chugoku.studio.site/0122apply> (担当：小島・成瀬)

■ ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸 ウェルカム・レセプションで演目・飲食を 無償提供いただける方を募集しています！

国内外の観光関係者が集う機会です。各地の魅力発信にご活用ください。

【名称】ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸「ウェルカム・レセプション」

【日時】9月25日(木) 18:00-19:30

【場所】Aichi Sky Expo (愛知国際展示場)

【内容】

(1) 演目提供

地域の芸能やコンテンツをステージで10分程度出演費、移動費、ステージ付帯以外の追加備品はご負担をお願いします。

(2) 飲食提供

各地の郷土料理、名物料理、特産品などの提供



北経連トピックス

URL <https://www.hokkeiren.gr.jp/>

E-mail info@hokkeiren.gr.jp

2025年1月16日(木) No366

発行：北陸経済連合会

編集：日野恵美・越野理恵

[Tel:076-232-0472](tel:076-232-0472) [Fax:076-262-8127](tel:076-262-8127)

- ① 無償提供のみ（キッチンカー）出展料無料
- ② 無償提供+販売（キッチンカー）出展料無料
- ③ 無償提供+販売（ブース）出展料 220,000 円
（電源、給排水設備等、必要に応じて別途有料）

【申込】1月28日(火)まで

ご関心のある方は、北経連 日野宛へご連絡ください。募集詳細をご案内します。

Mail: hino@hokkeiren.gr.jp（担当：日野）

以上



(特集) 北陸経済連合会 フィンランド経済視察報告

1. はじめに

当会では、2024年10月12日～20日の9日間、**金井会長**を団長とする**17名**の視察団をフィンランド(ヘルシンキ市・タンペレ市)へ派遣し、経済視察を実施した。

フィンランドは、人口556.4万人の規模でありながら、**技術革新やスタートアップの台頭**が次々と起こっている。

2024年の一人当たり名目GDPは約860万円、国連・世界幸福度ランキングで2018年から7年連続で1位を記録する「**イノベーションとウェルビーイング(幸福感)の先進国**」であり、当会が目指す「**北陸近未来ビジョン**」の目標(①一人当たりGRP700万円、②多様性と一体性の両立)を実現する国でもある。

今回の視察では、駐日フィンランド大使館の協力の下、**政府関係機関・民間企業・大学等19か所**を視察し、**カーボンニュートラル(CN、脱炭素)**、**スタートアップ**、**DX**、**DE&I**、**ウェルビーイング**等の先進的な**取り組みと考え方**、**最新の動向**に関して説明を受け、意見交換を行った。また、駐フィンランド日本大使(岡田特命全権大使)やフィンランド日本商工会会長から現地の政治・経済情勢や事業環境について学び、理解を深めた。

2. 訪問都市

ヘルシンキ市/Helsinki

- ・フィンランドの首都。
- ・バルト海の支湾フィンランド湾に面する港湾都市。
- ・機械、造船、繊維などの工業が盛ん。
- ・人口約70万人。

タンペレ市/Tampere

- ・フィンランド南西部、湖沼地帯の中心にある工業都市。
- ・豊富な水力を基盤に、製紙、紡績、製靴、機械工業が盛ん。
- ・人口約20万人。内陸都市としては北欧最大。



3. 視察先(訪問順)

【ヘルシンキ市】

- ・ビジネスフィンランド(フィンランド通商局)
- ・ヘルシンキパートナーズ(市通商局)
- ・フィンランド日本商工会
- ・Helen Ltd.(市営エネルギー会社)
- ・駐フィンランド日本大使公邸
- ・ヘルシンキ大学
- ・Maria01(インキュベーション施設)
- ・Neste Oyj社(再生可能燃料メーカー)
- ・Technical Research Center of Finland Ltd.(VTT)(国立技術研究センター)
- ・Luke社(政府系自然資源研究所)



【タンペレ市】

- ・ビジネスタンペレ（市通商局）
- ・Kiilto Oy 社（工業用プラスチック製造）
- ・タンペレ市
- ・UPM Raflatac 社（包装ラベル製造）
- ・EPSE Oy 社（廃水処理事業ベンチャー）
- ・Platform 6（インキュベーション施設）
- ・タンペレ商工会議所
- ・Gofore Oyj 社（デジタルサービス会社）
- ・タンペレ・チップ・プログラム事務局
（半導体・量子産業エコシステム）

4. 視察概要

①ヘルシンキ市（10月14日～16日）

ビジネスフィンランド及びヘルシンキパートナーズ【写真①】では、経済概況をはじめ、イノベーション、C N、サステナビリティ（持続可能性）、ウェルビーイング等に関してフィンランドが成功してきた背景、考え方・取組みについて学んだ。資源に限られる中、**技術革新や働き方改革、D Xによる生産性向上、野心的なC N目標達成に国を挙げて取り組んでいること、大手・中小企業、企業・大学等が密に協業していること、協業の中でスタートアップ企業が数多く生まれ、ユニコーンに成長していること**等が印象に残った。

ヘルシンキパートナーズでは、フィンランド日本商工会会長で(株)村田製作所現地法人の三浦代表からフィンランド人の働き方（**効率的に働き、自分の責任で成長、組織がフラット等**）について、フィンランド唯一の日本食材店「東京館」富田社長からフィンランドに欠かせない「**TRUST（信用）の精神（いずれ自分に還元されるため社会のため働く）**」、日本との共通項（**S I S Uの精神：途中で諦めず静かに耐え、果敢に挑む姿**）について、現地に住むビジネスマンならではの生の話を聴くことができ、理解を深められた。

駐フィンランド日本大使公邸【写真②】では、岡田特命全権大使から国の概況、**日本との関係、ロシアとの対立の歴史、防衛・安全保障、政治・経済の課題、スタートアップ育成、G X等**、詳細な講義を受け、より深いフィンランドを知ることができた。

【スタートアップ】

ヘルシンキ大学【写真③】や Maria01 において、施設見学の後、産学官金エコシステムの取組み等について説明を受けた。産学官金の距離が地理的にも心理的にも近く、いたるところにあるサウナを含め出会いの場が多いこと、インキュベーション施設の役割が大きく、公的支援も手厚いこと等が分かった。**大企業との協業や資金提供の仕組み構築等、多方面からアプローチしており、北陸における今後の取組みのヒントになるものだった。**

【C N】

フィンランドが **2035年**、ヘルシンキ市が **2030年**までの野心的なC N目標を掲げており、訪問した下記3社はいずれもC Nへのロードマップを詳細に作成し、行政等と共有するとともに、C Nを含む「サステナビリティ」を経済活動のDNAと位置づけ、事業のベースとしていることがC N推進に大きく貢献していると感じた。



- ・**Helen Ltd.** : 2030年のC N達成に向け、2025年までに風力を大幅に拡大、石炭火力を廃止、原子力を維持する供給計画、水素製造プロジェクト等を推進
- ・**Neste Oyj 社【写真④】** : 他に先駆けてC N投資を決断し、持続可能な航空燃料(S A F)の供給を通じてC Nに貢献
- ・**Luke 社** : 森林資源を活用したバイオ・循環経済関連技術や、森林の全体像が把握でき、管理や伐採を容易にする森林スキャニング等のデジタル技術等でC Nに貢献

【産学官連携】

国立技術研究センターV T Tが、大学が強い基礎研究と企業が強い応用研究を繋ぎ、**C N**や**D X**、**バイオ・循環経済**等、幅広い研究によって**企業の競争力を高め、イノベーションやスタートアップ創出に貢献**する等、大きな役割を果たしていることが分かった。

②タンペレ市(10月17~18日)

ビジネスタンペレではタンペレ市の経済概況、**スタートアップエコシステム**や**イノベーション創出**等の取組み、**タンペレ商工会議所**では市の産業構造と特色、**会員向け支援内容**、**タンペレ市役所**では**C N**や**D E & I**に関する**行政の取組み**、訪問した下記4社では**サステナビリティ**や**C N**、**D E & I**等の取組みや戦略について、それぞれ説明を受けた。

- ・**Kiilto Oy 社** : 2028年までの**C N**達成をはじめ**多様な環境配慮目標を設定**し、2080年を見据えたビジョン実現に向け、**D E & I**にも積極的に取り組む経営が特徴。
- ・**UPM Raflatac 社** : C N施策として、製品の軽量化(Reduce)・再生品利用(Recycle)、再生可能燃料への転換(Renew)、再利用しやすいラベル開発(Recycle and Reuse)に取り組む。**必要な技術開発、スコープ3でのCO₂削減が難しい**との話が聞かれた。
- ・**EPSE Oyi 社【写真⑤】** : 廃水から金属物質を取り出すデモを視察。
- ・**Gofore Oyi 社** : D E & I戦略について、**社員一人一人にあった働き方やキャリア形成に向けた取組み、メンタルケア、推進するリーダーの役割、育成**等について学んだ。同社では、D E & Iに加え、「**B(Belonging : 社会や会社への貢献度、帰属意識、心理的安全性)**」が**ウェルビーイング推進の上で重視**されており、**新たな気づきを得られた**。

【スタートアップ】

インキュベーション施設 **Platform 6【写真⑥】**を視察した。**スタートアップ会員と投資家、会員同士、他機関とのネットワーク**や、**資金調達、経営指導**等の支援内容について説明を受けた。欧州最大のデジタル地域になった要因を問われた際の「**成長都市になりたい一心で、市と民間が国の協力を得て5億ユーロもの大規模なイノベーション投資に踏み切ったことが大きい**」という回答に参加者が感心する一幕もあった。



【産学官連携】

ビジネスタレを中心とする半導体産業の取組みについて聴いた。同市は複合半導体産業が集積することから、**タンペレ大学等とも連携し、Gan+Sic 次世代半導体やパッケージに注力し、半導体・量子産業エコシステム構築**を目指している。

【写真①：ヘルシンキパートナーズ】



【写真②：駐フィンランド日本大使公邸】



【写真③：ヘルシンキ大学】



【写真④：Neste Oyj】



【写真⑤：EPSE Oy 社】



【写真⑥：Platform6】



5. 視察からの示唆

フィンランドは、スウェーデンやロシアによる長年にわたる侵略の歴史等を背景に、「**独自に生き残らなければならない**」という**国家としての危機感**から、限りある資源を最大限に使い、**絶え間ない工夫**とともに**特色ある国家運営**を推進し、発展を遂げてきた。中でも、**産学官金が一体となった新事業・イノベーションの創出**、**衰退したノキア社**



の技術者も活かした**スタートアップ企業の育成**、野心的なC N目標達成に向けた**大胆な再エネ・新エネ導入**、スマート製造等の**デジタル化・データ活用**など、**国を挙げた取組みが各分野**の成功に繋がっている。

国民一人一人が**ウェルビーイングを実感**する中で高めた「**社会や組織に貢献したいという意識**」を行動に繋げており、政府や企業はそのための支援や環境整備を積極的に推進している。また、視察先の多くのオフィスには、コーヒーやスナックの置かれた**オープンスペース**があるなど、**役員・従業員が自由な雰囲気**でコミュニケーションを図る工夫も随所に見られた。こうして生み出された**人材の多様性や交流がイノベーションの源泉**となっており、結果的に**幸福度が7年連続で世界1位**という理想的な国家像を形成できたものとする。

北陸においても、これらの取組みを参考に、**変えられないもの**（歴史・地理的条件、資源や産業構造、文化的背景や価値観の違い）、**変えられるもの・変えるべきもの**（意識や制度）を整理したうえで、**豊かな暮らしやすい地域づくりに繋がる施策**を推進していかねばならない。

6. 結び

当会では今後も、現地で構築した人的ネットワークを通じて情報収集しながら、**視察を通して得た新たな視点や取組み事例・考え方・成果等の知見を、セミナー等を通じて会員の皆様に共有**し、生産性向上や業務改革、ダイバーシティ&インクルージョンの推進等に繋げていただくとともに、**当会の第六次中期アクションプラン（実施期間：2026～2030年度）の策定**に活かしてまいりたい。

(担当：小島、宮原)